



「シリーズ：適正技術」第1回ワークショップ

Design for Life—地域が変わるものづくり

「シリーズ：適正技術」では、ものづくり、国内外での社会貢献、ビジネスの領域をつなぐ「適正技術」とは何かについて、ワークショップや実践を通じてローカルなニーズに見合った適正な技術を考えていきます。

日時：10月11日(金) 18:00 - 20:00

場所：大阪大学ステューデント・commons 1F 開放型セミナー室(豊中キャンパス)

(<http://www.cscd.osaka-u.ac.jp/access/toyonaka.php>)

ゲスト講師：渡邊さやか (一般社団法人 re:terra (リテラ) 代表)

ファシリテーター：西村勇也 (NPO 法人ミラツク代表理事)

対談ゲスト：敦賀和外 (大阪大学グローバルコラボレーションセンター特任准教授)

津田和俊 (大阪大学大学院工学研究科創造工学センター助教)

第1回ワークショップ「Design for Life—地域が変わるものづくり」の3つのステップ

①レクチャー：渡邊さやかさんによるカンボジアにおけるビジネス開発事業や、被災地における地域活性化事業の経験談話

②トークセッション：渡邊さんと、ものづくりや国際協力を専門とする大阪大学教員の対談

③ディスカッション：NPO法人ミラツク代表理事の西村勇也さんをファシリテーターに、フロア全体で議論

地域コミュニティが抱える課題の解決のために、技術をどのようにデザインすべきか、皆さままで考えてみましょう。

渡邊さやか (一般社団法人 re:terra (リテラ) 代表)

国際基督教大学アジア研究専攻。東京大学大学院「人間の安全保障」プログラム修了。大学院修了後にコンサルタント会社に就職。2011年6月に会社を退職し、本格的に被災地に関わるようになり、日本国内の課題や地域活性化にも関心をもつようになる。「日本の地域活性」と「途上国での事業開発」には共通点があると感じ、そこの課題もつながっていると考え、両地域に関わるようになる。2010年 NPO法人 soket設立、理事。2011年7月より一般社団法人 IMPACT Japanの東北復興ディレクター。2011年11月一般社団法人 re:terra設立、代表。

西村勇也 (NPO法人ミラツク代表理事)

大阪大学大学院にて人間科学 (Human Science)の修士を取得。人材育成企業、財団法人日本生産性本部を経て、NPO法人ミラツクを設立。2008年から始めたダイアログ Barの取り組みには2年半で1500人が参加。2011年よりソーシャルビジネス事業者、NPOリーダーを中心に、大学教員、行政職員、企業 CSR、デザイナーなどが加わるソーシャルイノベーションのプラットフォームづくりの取り組みを開始。各地で、次世代を担う社会的なリーダー&イノベーターの育成とセクターを超えた協力を生み出すためのマルチステークホルダーの対話の場づくりに取り組む。

参加対象:大阪大学学生(学部学生・大学院学生) / 大阪大学教職員 / その他の大学生、一般(とくに「地域が変わるものづくり」の実践に関心がある方)

定員: 40人 **参加:** 無料、事前申し込み要(当日参加も可能です)

申込方法: メールにて、件名に「10/11ワークショップ参加」/ 本文に1) お名前、2) ご所属 / をご記入の上、宛先: stips-info@cscd.osaka-u.ac.jp

(★を@に置き換えてご送信ください) までお送りください。

※第1回ワークショップ後、技術を用いた課題解決に取り組みたい学生を募集します。12月(予定)には、関西エリアにおいて、教員と学生によるフィールドワークも実施する予定です。ご関心のある方、当日、ご応募お待ちしております。

主催：大阪大学コミュニケーションデザイン・センター(CSCD)

共催：大阪大学グローバルコラボレーションセンター(GLOCOL)、大阪大学大学院国際公共政策研究科(OSIP) 稲盛財団寄附講座、公共圏における科学技術・教育研究拠点(STIPS)、NPO法人ミラツク

※本ワークショップは、CSCDの「適正技術教育プログラム開発」プロジェクトの一環として開催します。